

17. 対象

生活科では、「対象とのかかわり・・・」「直接対象とかかわる活動・・・」のように、『対象』という言葉がよく使われます。

これは、社会科における『社会的事象』，理科における『自然事象』と対応する言葉と考えることができます。

対象とは

『対象』とは，広辞苑によれば，

『対象』…認識や意志などの意識作用が向けられる当のもの。物的・心的・実在的・観念的なあらゆるものが対象になりうる。

とある。

生活科の場合は，子供が興味・関心を抱き，かかわる「もの・人・こと」を指すと考えられる。

生活科の内容から取り上げてみよう。

①もの	<ul style="list-style-type: none">・学校の施設・様々な場所・公共物や公共施設・身近な自然，身の回りの自然・身近にある物・動物や植物
②人	<ul style="list-style-type: none">・学校生活を支えている人々や友だち・家族・地域の人々
③こと	<ul style="list-style-type: none">・自分でできること・人々と接すること・季節や地域の行事・四季の変化や季節・自分の成長・自分の役割

生活科における学習の対象は，「もの・人」にとどまらず，「こと」をも含むことが特質と言えよう。また，学習過程で，「もの・人」にかかわることから，「こと」が生まれていくということが多い。